

大仙市アーカイブズ ニュースレター

第26号



大仙市マスコットキャラクター
まるびちゃん

企画展「昭和という時代」展 PARTⅠ 戦争の時代



期間：令和7年7月15日（火）
～8月30日（土）

会場：大仙市アーカイブズ展示室2

令和7年は昭和100年・戦後80年の節目にあたります。そこで前期・後期に分けて昭和の頃の大仙市について展示を行うこととし、前期では「戦争の時代」をテーマに企画展を開催しました。

アルバムや日記、手紙など、大仙市に残された記録から悲惨な戦場の様子や戦中・戦後の生活に思いを馳せ、戦争の記憶を振り返りました。展示した資料の中からいくつかご紹介します。



第4回秋田県道路復興宝くじ
宝くじは戦時中に戦費調達のために発行された「勝札」に始まり、戦後は復興支援を目的に発行されました。時代とともに賞金額や形式が進化してきました。

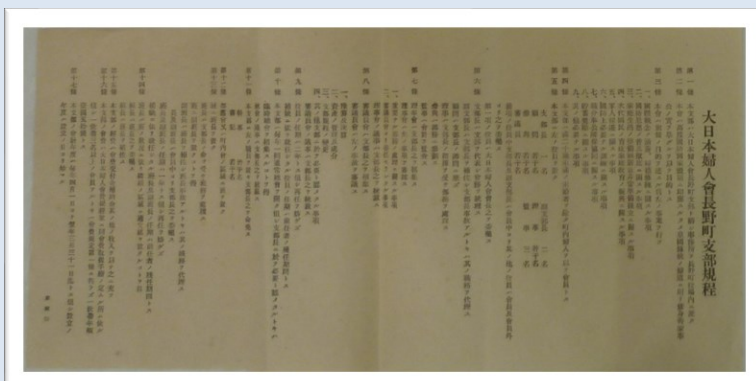
渡邊勝巳資料



寄せ書き日の丸

出征する軍人に向けて家族や友人らが書いた寄せ書き。兵士はこれを戦場に持って行きました。

平瀬家資料



大日本婦人會長野町支部規程

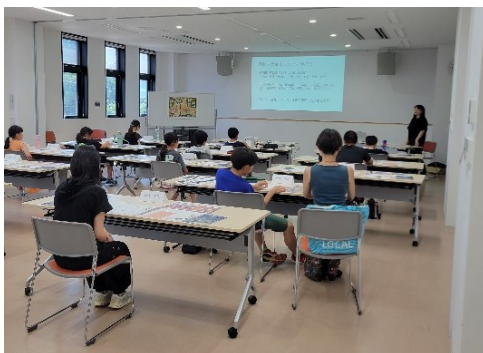
大日本婦人會長野町支部の実施事業として女性たちの修練や家庭教育・国防訓練など9つの事項が掲げられています。

平瀬家資料

夏休み子ども講座「タイムスリップ！ 大仙市の昭和を学ぼう」

小学校 4 年生から中学生までを対象とした子ども講座を開催しました。昭和の大仙市についてお店や街並み、生活の様子などを写真やすごろく、チラシなどから学びました。

子どもたちは昔の大仙市を見て驚きの声をあげました。講座の最後の質問コーナーでは多くの子どもたちが手を上げ、「お歯黒はいつまでありましたか」「チャンバラで使う木はどこからとって来たんですか」など、たくさんの質問が出ました。



日時：令和 7 年 7 月 31 日（木）

午後 13 時 30 分～15 時

場所：はなび・アム 2 階大研修室

参加：14 名

講師：アーカイブズ職員

秋田大学リサーチプロジェクト

秋田大学教育文化学部地域文化学科の清水翔太郎先生と学生 4 名が、当館が提案、採択された秋田大学リサーチプロジェクトのために当館を訪れました。このプロジェクトは秋田大学教育学部が地域と連携した調査・研究のテーマを公募して行うプロジェクトです。

清水先生指導の元、学生たちは大仙市アーカイブズ所蔵の古文書や絵図を整理しながら、デジタル化作業を行いました。

このプロジェクトを通じ、学生の皆さんが、歴史資料や公文書の整理・保存・公開の仕組みを理解し、地域文化の継承に貢献することを目的としています。



いべんと瓦版

後期企画展

「昭和という時代」展 PARTⅡ 高度経済成長の時代

- ・ 期間：10 月 14 日（火）～12 月 20 日（土）
- ・ 場所：大仙市アーカイブズ 展示室 2

アーカイブズ講座

戦後の人々の暮らしと街並み

- ・ 日時：10 月 31 日（金）午後 1 時 30 分～3 時
- ・ 場所：はなび・アム 2 階 大研修室
- ・ 定員：20 名
- ・ 申込：電話または QR コード（〆切 10 月 29 日）

